

いまを見つめる作家たち「遠き道—はて無き精進の道程」展

会 期 2008年9月6日(土)～11月16日(日)

画業は、果てしなく続く道のように終わりがありません。その果てしない道を、画家たちは、自らの理想を求めて歩み続けます。本展覧会では、平成を迎えてからの現代日本画の最新の流れを一望し、私たちと同時代を生きる画家たちのまなざしと、制作に打ち込む精神の鼓動を感じてもらいたいと思います。

展示作品は、現代日本画の主要団体である日展、院展、創画会の出品作を中心とし、これに近年活躍する無所属作家の個展発表作を加えていますが、なかには内閣総理大臣賞をはじめ、各団体の受賞作も含まれます。展示作品のほとんどが150号以上という大作で、その前に立つと圧倒されるような迫力とともに画家の息づかいが感じられるでしょう。

このほか、本展覧会では、立体レリーフ複製絵画やAMラジオによる音声ガイド、触れる日本画など、最新技術による視覚障害者のための平面絵画鑑賞の試みを行います。視覚だけではなく、触覚、聴覚によるアプローチで現代日本画をお楽しみください。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日 (祝日の場合は開館し、翌日休館)、祝日の翌日

会期中の休館日：9/8・16・22・24・29、10/6・14・20・27、11/4・10

観 覧 料 一般：500円 (400円)、大高生：300円 (250円)、中小生：200円 (150円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります
- 毎週土曜日、小中学生は無料となります
- 前期をご覧いただいた方は、後期の展示を割安でご覧いただける共通券を販売いたします
- 10月28日(火)は県民の日につき、無料開放いたします

主 催 高崎市タワー美術館、遠き道展実行委員会

後 援 文化庁、社会福祉法人日本ライトハウス、全国盲学校長会、厚生労働省、群馬県教育委員会、高崎市教育委員会、朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

関連事業

- 梅原幸雄アーティストトーク 10/5 14:00～
- 視覚障害者対象のワークショップ「香る絵を描く」 10/5
- 視覚障害者対象の展覧会鑑賞ツアー 10/19
- 学芸員による作品解説会 9/6、9/20、11/1、11/15 14:00～